

平成 30 年 5 月 4 日

第 104 回 日本消化器病学会総会に参加して (感想 ;

支部名 東海支部 勤務所属先 江南厚生病院 消化器内科

氏名 木下 拓也

1、総会に参加して思ったことをお書き下さい。

消化器病学会総会への参加自体が初めてであり、総会に参加できたこと自体が非常によい経験になりました。

後述する若手奨励カンファレンスに費やす以外の時間は各パネルディスカッションやワークショップにおいて様々な発表を拝聴する事ができ、非常に有意義に過ごす事ができました。

若手症例カンファレンスに関してですが、企画自体が初の試みであり、参加者・運営者側が共に手探りの状態での進行となりました。前日にチーム分けがなされ、呈示された症例に関する事前のディスカッションを行いました。私のチームには研修医、外科医の方も見え、提示された内科疾患について深く議論する事はやや困難であったと感じました。事前打ち合わせを行得た事は有意義でしたが、その内容を踏まえての当日のディスカッションであったため、どうしても形式的な台本のような討議となってしまう、今後継続して行くにあたっては、内容の見直しが必要であると感じました。また、普段なかなか接する機会のない、他地域の若手医師と交流を持つ事ができた事は良い経験となりました。

今後も積極的に学会への参加を行って行こうと思います。

2、ハンズオンセミナーに参加された方は感想をお書き下さい。

ESD ハンズオンセミナーに参加させて頂きました。

日常診療でもESDを施行する機会が増えて来ていますが、自病院の指導医以外からESDに関して指導を受けるのは初めての事でした。普段受ける指導とは異なった視点であったり、局所注射の向きなど初めて接する内容も多く、非常に有意義なセミナーとなりました。

また、同グループ内にはESD自体が初めてという年次の浅い方もおられたため、非常に良い経験になったものと思われます。

時間も十分にとっていただき、とても満足のいくセミナーでした。今後も機会があれば是非参加させて頂きたいと思ひます。

3、その他、今後の抱負や要望がありましたらご記入下さい。

上記にも記載しましたが、若手奨励カンファレンスを継続される場合には内容の見直しが必要であると感じました。具体的にはチーム数を減らす事で、1チームあたりの持ち時間を増やすべきであると感じました。また、前日に情報を共有する中で、本番当日には定型的な討議となつてしまいました。フロアからの質問をもつと誘導するなど工夫が必要であると思ひました。

非常に面白い企画であり、是非続けて頂きたいと思ひました。
